

第3回 石狩湾新港洋上風力発電事業検討協議会 議事概要

日時：平成27年3月13日（金）14:00～14:40

場所：石狩市花川北コミュニティセンター 2階ABC会議室

1. 開会

2. 議事（協議内容）

1) パブリックコメントについて

2) 公募要項・審査基準（案）について

○事務局より資料説明

○協議（委員質問及び事務局回答）

- ・審査基準の中の地域への説明・配慮というところで、地元住民への説明会という記載があるが、この中には立地企業や港湾利用者への説明も含まれるのか。
→要項では、地元住民への説明会実施と記載しているが、評価基準では、地元企業や漁業者等についても説明会の実施が提案されることを想定し記載している。
- ・公募要項2（5）では、電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法の下で、売電する目的で風力発電事業を行うもの、との記載があることから、100%売電する必要があるのかと考えていたが、審査基準や評価基準では、非常時における港湾施設等への電力供給について記載があることから、100%売電しなければならないわけではない、という理解でよろしいのか。
→評価基準等へ記載のとおり、事業者へは港湾施設への非常時における電源のバックアップや、地域への非常時の供給など、地域への貢献活動についても期待することから、100%売電とは限らない。

3) 審査委員会の設置、審査委員の選任について

○事務局より資料説明

○協議（審査委員会設置について、審査委員の選任について）

- ・審査委員会の設置：設置することで承認
- ・審査委員の選任：事務局案のとおり承認

【審査委員会委員】

北海道科学大学	白石 悟	委員（学識経験者）
北海道立総合研究機構	高橋 英明	委員（学識経験者）
石狩湾漁業協同組合	丹野 雅彦	委員（水産業関係者）
石狩湾新港安全対策協議会	清野 亮一	委員（水域利用者）
石狩湾新港企業団地連絡協議会	荒谷 隆則	委員（立地企業関係者）
石狩湾新港管理組合	田中 実	委員（行政関係者）

4) 評価基準（案）について

○事務局より資料説明

○協議（委員質問及び事務局回答）

- ・資料4-1、2（2）イに記載のアドバイザーについて、具体的な選定手続きや、選定する際の判断についての考え方は。
→具体の人選はこれからになるが、評価が難しいと思われる項目（例. 収支計画の評価、施設の安全性の評価 など）について、専門的な知見を有する方をお願いする予定である。
- ・資料4-1、2（2）ウについて、評価基準の合計点が53点以上となっているが、提案書の内容に対して0点という評価項目があった場合も、合計点が基準をクリアしていればよろしいという判断なのか。
→仮に0点の項目があったとしても、総点での判断となるものと現段階では考えている。
- ・53点以上となる提案が1件もなければ、選定されない場合もあり得るのか。
→53点というのは、必須項目の満点106点の中位であるが、最低でも全てが標準より高い内容の提案を期待して設定した点数となっており、仮に全ての応募者がその点数に達しなければ、事業予定者として選定しない。
- ・資料4-2、評価基準の配点について、他港の事例と比べ、本港向けに重きを置いたようなものはあるのか。
→評価基準の配点については、国が示している必須項目・任意項目に対応する形で採点方法を作成している。
- ・資料4-2、評価基準の配点表は、予め応募される事業者に開示されるのか。
→ホームページ上で本日の資料を公開するので、事業者だけではなく一般の方も閲覧可能である。
- ・資料4-2の任意項目として配分されている44点についての取扱いはどのように行うのか。
→必須項目と同様に、評価項目に対して判断基準を基に評価を行い、採点することとなる。

5) 今後のスケジュールについて

○事務局より資料説明

3. その他

○田中委員（石狩湾新港管理組合専任副管理者）より挨拶

4. 閉会